

小野市議会だより

Ono city assembly



第380回 6月定例会

一般質問

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| こばやし ちづこ
・ 小林千津子 | ふじ わら あきら
・ 藤原 章 |
| かしま じゅん
・ 加島 淳 | かわ な よし ぞう
・ 川名善三 |
| かわしま み な
・ 河島三奈 | たか さか じゅん こ
・ 高坂純子 |
| なか い すみ お
・ 中井澄夫 | まえ だ みつ のり
・ 前田光教 |
| おか しま まさ あき
・ 岡嶋正昭 | |

議会傍聴

6月定例会 113人
〔24年度累計 114人〕

さつまいも大きくなったよ

6月定例会—主な内容—

こんなことが決まりました	2～3
一般質問発言者	4
一般質問の内容について	5～9
議会の傍聴にお越しく下さい	9
常任委員会審査報告 等	10
行政視察報告	11
議会の動き	12



6月
定例会

こんなじとが決まりました。

6月定例会は、5月28日から6月29日まで33日間開催しました。条例制定及び人事案件などを含む議案5件並びに意見書案2件を原案のとおり、可決・同意しました。

一部改正された条例

小野市税条例の一部を改正する条例の制定について（反対討論あり）

法律改正に伴う税制改正に対応するため、市税条例の改正をしようとするもの。

＜主な改正内容＞

◎「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための地方税法及び地方特別税等に関する暫定措置法の一部を改正する法律」
（平成23年12月2日公布）

○個人住民税における退職所得10%の税額控除の廃止：平成25年1月1日施行

○市たばこ税の税率改正：平成25年4月1日施行

法人税率が引下げ（30%↓25・5%）されることにより、法人税額の14・7%で課税される法人市民税は減収となるが、減価償却の

見直し、欠損金繰越控除の見直し等による課税ベースの拡大により県税である法人事業税が増加することから、県たばこ税の一部を市たばこ税に移譲し、増減収の調整を図る。

【たばこ税（1,000本当たり）】

一般分
国5, 302円 変更なし
県1, 504円↓860円

市4, 618円↓5, 262円
（644円増）

計11, 424円 11, 424円

◎「東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律」
（平成23年12月2日公布）

個人住民税の均等割の標準税率を平成26年度から平成35年度までの間、年額1,000円（市民税500円、県民税500円）を加

算した額とする。…公布の日から施行
市民税均等割
3,000円↓3,500円
県民税均等割
1,000円↓1,500円
合 計
4,000円↓5,000円
※上記のほかに県民みどり税800円は別途加算。

◎「地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律」
（平成24年3月31日公布）

年金受給者の寡婦（寡夫）控除対象者の市申告不要制度の導入：平成26年1月1日施行
年金の源泉徴収票に寡婦（寡夫）控除の記載欄が追加され、対象者の市申告が不要となる。

主な議案

小野市監査委員の選任について

監査委員土井嘉彦氏の任期が、平成24年9月7日で満了するので、その後任として同氏を再任しようとするもの。

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

山本義明氏、藤原國子氏及び小林美枝子氏の任期が、平成24年9月30日に満了するので、その後任として新たに松永進氏、岩崎奈保子氏及び前田さちよ氏を推薦しようとするもの。

市立小野東小学校改修（建築）工事
請負契約について

工事名 市立小野東小学校改修

（建築）工事

相手方 姫路市神子岡前一丁目

1番15号

株式会社北村工務店

代表取締役 北村聡一郎

契約金額 7億644万円

市立小野東小学校改修（電気）工事
請負契約について

工事名 市立小野東小学校改修

（電気）工事

相手方 姫路市保城981番地

の1

西部電気建設株式会社

姫路支店

支店長 松村 隆好

契約金額 1億6,128万円

意見書関係

再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

このころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書

この意見書2件は、採決の結果、可決されました。

意見書の内容につきましては、小野市議会ホームページに掲載しています。

市立小野東小学校改修工事の概要

1 工事概要

(1) 大規模改修

- ① 南校舎 鉄筋コンクリート造3階建 約2,510㎡
- ② 中校舎 鉄筋コンクリート造2階建 約1,630㎡
- ③ 北校舎 鉄筋コンクリート造2階建 約1,740㎡

(2) 増 築

- ① 南渡り廊下棟 鉄骨造 約910㎡（エレベーター、便所、図書室等）
- ② 北渡り廊下棟 鉄骨造 約420㎡（エレベーター、便所等）
- ③ 北階段棟 鉄骨造 約70㎡（非常階段、北玄関）

(3) 環境・安全対策

- ① 太陽光発電 発電容量：約40kw
普通教室及び職員室の照明で使用する電力量相当
- ② 雨水再利用 雨水貯蔵タンク：100トン超 トイレ洗浄水に利用
- ③ 照明器具 LED型器具 ランニングコストの抑制
- ④ モニターカメラ 各廊下及び給食室 これまでの外部カメラに加え設置

2 完成予定

平成25年7月末



市立小野東小学校完成予想図



(自然学校)

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成24年 6月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.ono-sigikai.jp/>

一般質問発言者

小林千津子 議員

- ・ボランティアグループの育成について
- ・高齢者福祉について
- ・安全安心パトロールについて

藤原 章 議員

- ・神戸電鉄小野駅及びその周辺の活性化について
- ・道路給食への補助について
- ・道路改修について
- ・大飯原発再稼働問題について

加島 淳 議員

- ・ソーシャルネットワークサービスを利用した新たな小野市の情報発信・情報収集について

川名善三 議員

- ・事業継続計画(BCP)策定支援について
- ・災害時の通信手段及び情報システムの確保について
- ・学校施設の設備等(非構造部材)の耐震化について

河島三奈 議員

- ・神戸電鉄サポータークラブ(仮称)について

高坂純子 議員

- ・「コミセンの寺子屋」事業について
- ・女性の地域防災参画について

中井澄夫 議員

- ・道路舗装整備5カ年計画の進捗状況について
- ・通学路の交通安全対策強化について
- ・生活保護受給者に対する就労支援の状況について

前田光教 議員

- ・小野市の景観保全施策について
- ・発達障害への取組について
- ・河合水源池及び配水池の改修計画について

岡嶋正昭 議員

- ・小野市内における各種施設の維持管理について
- ・防災センターの建設について



市民クラブ
小林千津子 議員

ボランティアアグループの育成について

質問 市民力であるボランティア活動の支援について、今後地域の多様な人材を生かし、地域おこしに参加していただけるリーダー育成のための研修が出来ないか。

答弁 価値観やライフスタイルが多様化する中、自らの意思で自発的に社会に貢献される活動はまちづくりには欠かすことが出来ないものとして重要性を認識しています。市としてはコミセン単位での開催として事例紹介、リーダー養成、講習会については重要であると考えていることから、今後、市民活動の活性化、コミュニティ作りの推進に繋がるような取り組みについて、検討してまいります。また、活動を通じて地域コミュニティの推進と参加者自身の人生の豊かさにも繋がると考えます。

(市当局・市長)

高齢者福祉について

質問 高齢者が住みなれた地域で一日でも長く、元気で暮らすための支援と、福祉セミナーの開催について。

答弁 高齢者が要介護状態に陥らない為の予防事業の内容に、参加意欲の向上の困難性を考えながら魅力的な集いの場となるよう創意工夫を加え、参加の働きかけを行い、身近な地域での定着化を図ってまいります。また、市民を対象に「福祉を学ぶセミナー」を開催する予定です。

(市当局)

安全安心パトロールについて

質問 通学時間に合わせた巡回が出来ないか。

答弁 6月21日から一ヶ月間パトロールの試行運用を行い、その実行性について、地域、学校側と相談のうえ運用について検証してまいります。

(市当局)



日本共産党
藤原 章 議員

神戸電鉄小野駅及び周辺の活性化について

質問 「小野市の玄関口」である電鉄小野駅と周辺の活性化を問う。

答弁 平成21年に「市の玄関口である神戸電鉄小野駅前という立地を活かした住商共存の陣屋のまちづくり」を基本コンセプトに計画が策定され、順次、事業をすすめている。駅ビルの福祉公社あとは民間活用が基本だが、空き状態が長く続けば小野市の玄関口としての駅の活性化や賑わいづくりに寄与する活用策を検討したい。

(市当局)

学校給食への補助について

質問 経済的に厳しい中で子育てを頑張っておられる方が多いと推察される。学校給食費の保護者負担を減額できるよう、また食材が豊かになるような助成を問う。

生活道路整備について

答弁 本市の給食費は北播各市で最も低く、15年間据え置いてきた。経済的に困難な所帯には就学援助制度で対応している。また学校給食法では材料費は保護者の負担としており、助成拡大は難しい。

(市当局)

質問 生活道路の整備基準を問う。

答弁 各町からの要望を受けて整備している。幅員90cm以上、隣接する民家が1軒以上、行き止まりでない、日常的な利用があるなど、1項目の基準で判断している。

(市当局)

大飯原発再稼働問題について

質問 政府に大飯原発再稼働の中止を働きかける考えは無いか問う。

答弁 多様な再生エネルギーを最大限活用し、原子力発電所の新規増設は認めない立場だが、現時点で大飯原発再稼働の反対を働きかける考えは無い。

(市長)



改革クラブ
加島 淳 議員

わってくるのだと考える。特に災害時に、正確な情報をもたらされることになれば、それは意義あるツールとなると考える。
(市当局)

ソーシャルネットワークサービスを利用した新たな小野市の情報発信・情報収集について
時代は、ソーシャルネットワークサービ

スが様々な情報を見、また専門的な知識がなくても簡単に情報を発信することができるようになった。
これらのツールをうまく使い「行政の情報発信、情報収集をしている自治体も50を超えると聞く。そこで、小野市のソーシャルメディア活用について質問する。

質問 メディア活用のメリットは。
答弁 情報発信の現状は、「広報おの」を中心に、情報収集は7月から2ヶ月間の「市長への手紙」等で行っている。そこでメディア活用のメリットは、瞬時に情報を伝えることができること。またその情報に対する感想など、反応が素早く市にも伝

わってくるのだと考える。特に災害時に、正確な情報をもたらされることになれば、それは意義あるツールとなると考える。
(市当局)

質問 行政のICT化はリテラシー(読み書き能力、情報の応用力。情報を受信するだけでなく、発信できる能力も含めた活用力)の底上げが必須と考えるが、学校での子供たちへの教育は。
答弁 新しくなった学習指導要領でICT教育について明示された。小野市では、パソコンの文字入力の基本操作の学習から新聞作りやプレゼンテーションなどの情報発信に至るまで発達段階に応じ総合的に学習している。

また、ICT機器(視聴覚教材や教育機器)は、平成21年度から3カ年計画で配備しているが、これからの時代の変化に応じ、児童・生徒の将来を見据えたICT教育を積極的に展開していく
(教育長)

事業継続計画(BCP)の策定支援について
答弁 小野商工会議所と連携の上、市補助金を活用するなかで、経営指導員の策定指導研修への派遣、策定セミナーの継続開催により、企業自らが危機管理体制を構築されるよう支援したい。
(市当局)

災害時の通信手段や情報システムの確保について
質問 システム被災した場合の復元対策は
答弁 被災による停電時は無停電装置のバッテリーによりコンピュータ機器は正常なシャットダウンが行われその時点のデータはシステム内に保存されます。又すべての機器は転倒防止処置がとられた大型ラックに収納されており、さらに日々のデータは、夜間に自動的にテープ媒体へ記録され、



公明党
川名善三 議員

このテープを翌日、耐火金庫へ保管することにより、バックアップデータは確実に保管しています。

質問 自治体クラウドへの取組について
答弁 総務省で取組まれている実証実験で示された諸課題を順次検証しながら、将来においては自治体クラウドの運用が拡大することも考慮するなか、次期更新時にはクラウドに係る諸課題も含め、市民サービスの利便性や、コスト等広く検討し最善の選択をする必要があるものと考えます。
(市当局)

学校施設の設備等(非構造部材)の耐震化について
答弁 市としてもその重要性を認識していますが、現状では十分な対応ができていない面もあり、小野東小学校の改修工事が終了後、各コミセン等も含め全体計画を策定し取組みたい。
(市当局)

このテープを翌日、耐火金庫へ保管することにより、バックアップデータは確実に保管しています。



改革クラブ

河島 三奈 議員

神戸電鉄サポータークラブ
(仮称) について

質問 検討されていた神戸電鉄サポータークラブ(仮称)について計画の進捗状況はどのようになっているのか。

答弁 電鉄粟生線活性化協議会が昨年度、沿線住民に対するアンケート調査を行っています。この中で、新たにサポーターをしたいと考えられた市民の方やすでに活動されている市民企業に対し、自主的に神戸電鉄粟生線をサポートできる場を提供するため、小野市独自のサポータークラブを検討していました。しかし活性化協議会でも同じような構想があり、内容が重複することから、沿線3市が同じ目標で連携した取り組みができるよう協議会が設立するサポーターズクラブにおいて活動することになりました。(市当局)

活動内容等具体的な構想は。

答弁 小野地区地域づくり協議会の委員の方々が中心になって、会員募集などを早期に行い、クラブ運営は神戸市、三木市、神戸電鉄等と連携して行っていきたい。なお、具体的な活動内容は7月2日の活性化協議会において審議されます。(市当局)

神戸電鉄の活性化についての役割は。

答弁 サポーターズクラブは、神戸電鉄粟生線に対する興味、感心を持って頂くきっかけとして有効な存在であり、会員自らが利用促進につながるイベント等を計画すること、より利用者の目線に立った活性化事業の展開が可能になると考えます。また、この活動を通して、市民の皆様一人ひとりが粟生線への愛着を育てて頂けることを期待するとともに、持続可能なクラブへと成長してゆくことが極めて重要であると考えます。(市当局)



市民クラブ

高坂 純子 議員

「コミセンの寺子屋事業」について

質問 4月末より開設された「コミセンの寺子屋」事業の現状を問う。

答弁 利用児童数は各コミセンにより多少差はあるが、5地区(小野地区除く)合わせて(6月15日現在)76名。低学年の利用率が全体の50%を超えた割合となっている。子ども達の家庭学習の習慣付けと共に、支援者は躰や礼儀なども教えたり、月1回の支援者会議を開き、リーダーの下「連絡ノート」の活用等で支援向上に努めている。(市当局)

「保護者の責任のもとで送迎する」とあるがもう少し緩和は出来ないか。

答弁 学校から近いなど、直接参加できるケース等もある。安全面を考慮して、緩和していきたい。(市当局)

女性の地域防災参画について

質問 「サンフラワーズ19(女性消防団)」が、今年度より始めた「着衣着火」の消火方法(止まって、倒れて、転がって)を高齢者の為に啓発してはどうか。

答弁 手探りの状況であるが、これを検証したうえで、高齢者向けの講習会が出来たらと考えている。(市当局)

消防団活動が難しくなっている現状からも各消防団に、女性を入団させてはどうか。

答弁 消防団の入団資格は、18歳以上の市内に在住又は、在勤している人なので、男女は問わない。役割分担も必要とは思いますが、入団して頂く事は可能。(市当局)

「家庭防火チェックシート」の作成と啓発はどうか。

答弁 節電の為、扇風機使用の家庭も多く、今夏は古い扇風機の事故防止を中心に啓発していく。(市当局)



中井 澄夫 議員

道路舗装整備5カ年計画の進捗状況について

質問 粟生町や昭和町の市（農）道の整備が遅れているが、道路舗装整備5カ年計画内に着手するのか。

答弁 民家のない市道や極端に利用がない市道については、優先順位を落とし後回しになっていますが、最終年度において判断させて頂きます。

（市当局）

答弁 三井堰の歴史や整備の優先順位等の問題から遅れています。放置している訳ではありません。順次施工の予定です。

（市長）

通学路の交通安全対策強化について

質問 全国的に通学路において痛ましい死傷事故が多発している。児童

生徒の安全確保のためにグリーンベルトの今後の施工計画について問う。

答弁 主に市街化区域内において、歩行者両双方の交通量が多い道路。

車道幅員4メートルを確保し且つ着色可能な路肩が1メートル以上の道路。学校等と面的なエリアとして、つながりを有する道路。これらを基に、県公安委員会等関係機関と協議の上、有効と判断された路線について整備します。

（市当局）

生活保護受給者に対する就労支援の状況について

質問 生活保護受給者の就労支援の状況を問う。

答弁 担当者が受給者をハローワークへ引率して行く等の支援活動の結果、22年度7件、23年度6件、生活保護から脱却され、効果額は約940万円の成果でありました。

（市当局）



市民クラブ
前田 光 教議員

小野市の景観保全施策について

質問 ①空家等実態調査結果、②耕作放棄地、③廃屋放置、④産業廃棄物放置について問う。

答弁 空家は545戸の4.4%、北播磨で一番低い空家率であった。（詳細件数は地域振興部HP参照）売却や賃貸の意思があるかを調査し、空家情報を提供するなど、再活用の方策を進めていく。廃屋は、市内55戸であり、条例化に向けて取り組んでいく。産業廃棄物は、引き続き兵庫県への要請を続けていく。

（市当局・市長）

発達障害への取組について

質問 ①学校現場の現状、②就学前健診、③今後の対応について問う。

答弁 医師の診断、疑いがあると思われる児童数は5.8%であり、今後も関係機関とネットワークを作り、サ

ポートしていく。保育所・幼稚園を訪問し、発達上に課題が見うけられる全児童を把握し、専門医による受診、療育支援について保護者に促している。

（昨年は150名の園児についてケース検討を実施。）兵庫県の「5歳児発達相談事業」の事業評価などに注視し、現在の取り組みと併せた支援体制を考えていく。「支援のほじまりは理解から」との言葉を大切に、啓発講演会等、更なる啓発事業に取り組んでいく。

（市当局・教育長・市長）

河合水源地及び配水池の改修工事計画について

答弁 25年度より施設計画の検討に入り、26年度に設計を行い、27年度から2ケ年で整備工事を行う予定である。また、インフラの強化については、山崎断層を震源とする被害に備え、中長期的展望に立った整備を計画的に進めていく。

（市当局）



市民クラブ
岡嶋正昭議員

市内における各種施設の維持管理について

質問 建替え等による財政的な影響について

答弁 一般会計所管の133施設のうち、築40年以上を経過している建物は市庁舎・給食センター等13施設。築30年以上は市民会館・南中学校等30施設。築20年以上は伝統産業会館・小野小学校・総合体育館等36施設がある。今後20年間に発生する施設改修費用は、160億円、建替費用は、120億円で、合計280億円と推計される。この財源を起債に依存すると、毎年約12億円程度を借り入れることになる。人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化、市民ニーズの変化等を鑑みると、ピーク時の平成30年前後で、実質公債費比率17%、将来負担比率80%程度の優良な数値が維持できると見込んでいる。
(市当局)

防災センター建設について

質問 小野市防災センター建設計画について

答弁 平成23年5月に兵庫県が発表した山崎断層帯地震の小野市の被害想定は、震度7。死者1,023人、負傷者448人、全壊・半壊家屋24,046戸。避難者29,423人など予想されている。近年の風水害等に対処するため、早急に防災拠点である「小野市防災センター」を整備したい。機能的には、災害対策本部機能、市民の方々に防災・減災知識を学んでいただく啓発研修機能、消防機能の3つを兼ね備えた施設を計画。建設場所は市役所東駐車場に、本年度中の実施設計完了と建設等工事に着手したいと考えている。将来的には、市庁舎の建て替えも、当然の事ながら視野に入れての取り組みとなる。
(市当局・市長)

議会の傍聴にお越しく下さい。

9月定例会日程

9月定例会は、下記の日程で開催いたします。

8月31日(金)10時～ 本会議(第1日) 9月20日(木)10時～ 本会議(第2日)
9月21日(金)10時～ 本会議(第3日) 9月27日(木)13時30分～ 本会議(第4日)

○本会議の第2日(20日)、第3日(21日)は、議員の一般質問があります。
市長から提出された議案や、市政全般について一般質問を行い、市長及び市の幹部が答弁します。

傍聴者の休憩室を開設します

本会議を傍聴に来られた市民の皆さんに、本会議の休憩時間をくつろいでいただけるよう、議場の隣接会議室を利用して、休憩室を設けています。議場内の傍聴者席が満席の場合、休憩室でモニターによる傍聴となる場合がありますので、ご了承ください。休憩室の設置は、一般質問のある20日(木)と21日(金)の2日間です。部屋には、セルフサービスのお茶も用意しています。



託児コーナーを開設します

9月20日(木)
9月21日(金)



○一般質問が行われる20日(木)、21日(金)の午前中は、「託児コーナー」を開設しています。就学前までのお子さんをお持ちの保護者の皆さんも議会を見ていただくことができます。ご希望の方は、9月12日(水)までに議会事務局まで電話でお申し込みください。

《常任委員会に付託された議案》

◎総務文教常任委員会◎

議案第40号 小野市税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第43号 市立小野東小学校改修（建築）工事請負契約について

議案第44号 市立小野東小学校改修（電気）工事請負契約について

審査の結果、議案第40号については、反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきと決まりました。その他の議案については、反対討論はなく、すべて全会一致で可決すべきと決まりました。



6月定例会の提出議案審査付託について、6月27日に総務文教常任委員会を開催しました。

審査付託議案は、議案第40号、議案第43号及び議案第44号の3議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。総務文教常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

常任委員会審査報告

民生地域常任委員会研修会を開催しました

小野市議会では、市政の現状を把握し、議員の資質及び議会としての監視機能の向上を目指し、常任委員会等の研修を継続して行っています。

今回は、民生地域常任委員会が7月23日(水)から25日(金)の日程で実施する行政視察の事前研修として、市関係部局の担当職員から小野市の各施策の取り組み状況等の説明及び質疑を行い、理解を深めました。

1 開催日 7月12日(木)

2 研修事項

- (1) 空き家等の適正管理について（小野市の空き家等の現状、取り組み状況等）
- (2) 災害廃棄物について（東日本大震災の「がれき」の広域処理等）



常任委員会行政視察報告 総務文教常任委員会

平成24年7月11日(水)~13日(金)

①青森県五所川原市

市民提案型事業について

平成22年度から地域課題の解決に向け、市民団体等が行う公共性のある地域活動を支援し、地域活性化と協働のまちづくりを推進する制度である「市民提案型事業」をスタートさせた。構成員5人以上の団体等から申請された事業は、学識経験者と民間地域づくり団体の市民から構成された市民提案型事業審査会で審議のうえ採択の是非を決めています。



(1) はじめの一步事業

地域を元気にするための公益的活動をこれから始める団体等に対し、活動準備のための費用の一部を助成する。

- ① 補助率 4/5 ② 補助金限度額 30万円（事業費5万円以上）
- ③ 採択状況 平成22年度：9件 平成23年度：4件971,000円

(2) 市民提案型事業

地域を元気にするための公益的活動を行う団体等が行う事業に対し、その運営のための費用の一部を助成する。

- ① 補助率 2/3 ② 補助金限度額 100万円（事業費30万円以上）
- ③ 採択状況 平成22年度：5件 平成23年度：5件2,500,000円

②青森県八戸市

地域密着型教育推進事業について

学校と地域社会・家庭の双方向の信頼関係を深め、その教育力を高め合うことにより、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的とする事業です。

特色としては、教職員・地域住民・保護者の代表による地域学校連携協議会を設置し、教育目標や教育活動等学校運営の基本方針について話し合い、三者の願いや考えを生かしたよりよい教育活動を展開する。三者の連携が必要な取組は、その下部組織が保護者や地域のボランティアの参加を得て実施する。



また、学校関係者評価や学校施設開放に関する内容を地域学校連携協議会が担うことにより、既存の組織や事業を整理・統合することも可能です。ただし、学校予算と人事に関する権限はない。

③秋田県大仙市

小規模集落コミュニティ対策事業について

人口減少や少子・高齢化の進行等により、急速に失われつつある小規模集落のコミュニティ機能を維持・活性化することを目的とする事業です。

特色としては、平成21年度に小規模コミュニティ対策会議からの提言により、集落支援員を3地域に設置し、集落点検や話し合いによって、コミュニティ機能の再生・活性化につながる支援策を検討実施することで、集落の維持・活性化を図る。

《集落支援員制度：平成22年度》

集落維持・活性化のため、集落の要望を踏まえアドバイザーをコーディネート役として配置する。（集落支援員：通称むらサポ）

- ・集落の状況の調査・巡回（人口動態・生活実態等）
- ・集落独自の住民サービス、市と連携した対策の検討
- ・集落の課題の把握、抽出、点検
- ・集落内外での連携、協力体制づくり
- ・集落との協議、話し合いの場づくり



《がんばる集落活性化支援事業：平成23年度》

自治組織の維持・活性化のため、自治組織が自ら行う自主的な活動に対して補助金を交付。

- ・新たな活動を開始したい、従前の活動の拡充を図りたい
- ・近隣の複数集落で将来のことを考え勉強したい
- ・集落支援員と協働で集落の維持・活性化を図りたい

◎ 議会の動き ◎

【5月】

- 7日 匠工業会総会
- 9日 会派代表者会
 - ♪ 議員互助会役員会
- 10日 臨時議会
 - ♪ 小野市人権教育研修協議会
- 17日 行政視察来市(南あわじ市)
- 18日 議会運営委員会
 - ♪ 市議会報編集委員会
 - ♪ 議員互助会役員会
 - ♪ 議員協議会
- 19日 小野特別支援学校運動会
 - ♪ 加古川上流浄化センター上部利用施設供用開始式
- 20日 小野市消防団消防操法大会
- 22日 加古川改修促進期成同盟会総会
- 23日 全国市議会議長会総会(東京)
- 24日 市議会議員共済会代議員会(東京)
 - ♪ 北播政経懇話会
- 25日 天皇陛下拝謁(東京)
 - ♪ 小野市農会長総会
- 26日 市場小学校・中番小学校運動会
 - ♪ 小野市シルバー人材センター総会
 - ♪ 小野市保健衛生推進協議会
- 27日 青野原駐屯地36周年記念行事
 - ♪ 小野市更生保護女性会総会
- 28日 本会議(第1日)
- 29日 ひまわり会総会
 - ♪ 小野市遺族会代議員総会
 - ♪ 青少年補導委員会総会
- 30日 小野市防災会議

【6月】

- 1日 小野市観光協会通常総会
- 2日 小野市詩歌文学賞・上田三四二短歌フォーラム
- 22日 本会議(第2日)
 - ♪ 議会運営委員会
- 23日 小野市女性団体連絡協議会総会
- 25日 本会議(第3日)
- 26日 東播磨南北道路建設促進期成同盟会総会
- 27日 総務文教常任委員会
- 28日 小野防犯協会総会
- 29日 本会議(第4日)
 - ♪ 議員協議会

【7月】

- 3日 行政視察来市(石川県羽咋市)
- 4日 一般国道175号整備促進期成同盟会総会
- 9日 北播磨衛生事務組合議会(加東市)
- 11日~13日 総務文教常任委員会行政視察
(五所川原市・八戸市・大仙市)
- 12日 民生地域常任委員会研修会
- 13日 関西広域連合意見交換会(神戸市)
- 15日 北播磨地区消防操法大会(三木市)
- 17日 北播磨総合医療センター企業団議会(三木市)
- 18日 東播磨淡路市議会議長会定例会(西脇市)
- 20日 市議会報編集委員会
- 23日 播磨内陸医務事業組合臨時議会(加東市)
- 24日 全国市議会議長会基地協議会近畿支部総会(宝塚市)
 - ♪ 小野市交通安全対策委員会総会
 - ♪ 兵庫県市議会議長会総会(加西市)
 - ♪ 行政視察来市(宮城県角田市)
- 25日~27日 民生地域常任委員会行政視察
(酒田市・石巻市・山形市)
- 26日 北播政経懇話会(西脇市)
- 28日 小野市ひまわり杯少年野球大会
 - ♪ 兵庫県人権教育研究大会東播磨大会

井上日吉議員に 全国市議会議長会から 感謝状

5月23日(水)全国市議会議長会総会において、井上日吉議員が全国市議会議長会の副会長を務めたことに対し、感謝状が送られました。

5月28日(月)に議長室において井上議員に伝達されました。



小野市議会ホームページを リニューアルしました!!

新しくなったホームページをぜひご利用ください。
<http://www.ono-sigikai.jp/>

小野市議会 CNC CITY ASSEMBLY

自宅にいながら議会の傍聴 市議会ライブ中継実施中!!